



市ホームページ
二次元コード

このまちに生まれてよかった、 住んでよかった、安心・安全なまちづくり —— 吉野川市の未来へ

6月8日、令和8年6月吉野川市議会定例会開会日、原井市長は令和8年度のこれまでの成果と今後の市政運営方針についてその所信を表明しました。要旨の一部を掲載します。全文につきましては市ホームページをご確認ください。

暮らし・福祉の 満足度向上

●キャッシュレス決済対応 セルフレジの導入

今年度、市民生活課窓口にて、コンビニエンスストアなどでおなじみの「キャッシュレス決済対応セルフレジ」を設置する予定でございます。

現在、住民票の写しや印鑑証明書など各種証明書類を取得する際、窓口でのお支払いは現金のみとなっておりますが、セルフレジで精算していただくことにより、キャッシュレス決済が可能となり、決済手段の選択肢が広がります。

導入時期につきましては、本年秋頃を目指しており、現在、業者選定などの手続きや運用方法について検討を進めているところでございます。

今後におきましても、市民の皆様への利便性向上に向けて、鋭意取り組んでまいります。

移住定住・にぎわい 創出の魅力度向上

●Mt.高越ヒルクライムレース

昨年開催しました第1回大会には110名の方にご参加いただき、地域の皆様をはじめ、多くの団体や関係者の皆様のご尽力のもと、安全で事故のない大会を実現することができました。この成果を踏まえ、第2回大会を11月1日に開催する運びとなりました。

さらに、第2回大会は、全国で活躍する実業団選手が参加するJBCF（全日本実業団自転車競技連盟）のシリーズレースに登録されることが決定しており、これにより、昨年以上に全



市長所信表明（令和8年6月）

- はじめに** ●台風6号について ●第160回四国市長会議の開催 ●レッツ・クリーン環境美化のお礼
市政の動き ●北海道仁木町との交流再開 ●令和7年度決算見込み ●各種連携協定の締結

子育て・教育満足度向上

- 学校における安全教育的の充実

暮らし・福祉の満足度高上

- キャッシュレス決済対応セルフレジの導入

移住定住・にぎわい創出の魅力度向上

- 各種イベントの開催状況
- Mt.高越ヒルクライムレース

成長する産業づくりの拡大

- スィートコーン「甘々娘」について
- 観光PR事業について
- 農林業まつりの開催

安心・安全なまちづくりの拡大

- 吉野川市地域防災計画の改訂

持続可能な地域づくりと市役所の変革

- 火葬業務のあり方
- 水道使用料金などの改定



国のファンや関係者の皆様はもとより、各種メディアからも注目され、本市の認知度向上や魅力発信の絶好の機会となるものと考えております。

成長する

産業づくりの拡大

●スィートコーン「甘々娘」について

本市はスィートコーンの一大産地であり、中でも「甘々娘」は、「ふるさと納税」の主力返礼品として、県内はもとより全国の皆様に大変喜ばれている本市自慢の特産品ブランド認証品でございます。

昨年は、「甘々娘」の作付面積の減少により、ふるさと納税も苦戦が予想されておりましたが、関係者の皆様のご尽力により2年連続で過去最高額を更新し、昨年度は初めて1億円の大台を突破するなど、右肩上がりの状況を維持することができました。

このたび、「甘々娘」の作付面

積が回復したことにより、ふるさと納税につきましても、一層の躍進が期待できるところでございます。

安心・安全な まちづくりの拡大

●吉野川市地域防災計画の改訂

本市における災害対応の基本方針である「吉野川市地域防災計画」を、本年3月に全面改訂いたしました。

今回の改訂は、人口動態の変化や社会状況、防災対策の進捗状況を踏まえた上で、県が本年2月に公表した南海トラフ巨大地震の被害想定を受け、最新のデータや知見を反映した内容となっており、災害発生時の防災減災対策から早期の復旧復興まで、より一層実効性のある計画となっております。

また、この地域防災計画を機

持続可能な地域づくりと市役所の変革

●火葬業務のあり方

現在、本市における火葬業務につきましては、鴨島町にある吉野川市斎場と、阿波市と一部事務組合で運営する阿北火葬場管理組合の2つの施設において実施しておりますが、施設維持費や運営費の面において二重行政となっており、財政面での大きな課題となっております。

このような状況を踏まえ、本市では、阿北火葬場管理組合を令和10年度末をもって脱退し、

吉野川市斎場を拠点とした火葬業務を行うっていく方針を決定したところでございます。

これは、吉野川市の未来を見据え、市民の皆様にとって公平で透明性のあるサービスを確保するとともに、財政負担の軽減を図ることが必要不可欠であると判断したことによるものでございます。

これにより、二重行政の解消による運営の効率化と財政の健全化が図られるとともに、これまで以上に市民の皆様にとって、より質の高い火葬サービスを提供していく所存でございます。



地元の皆様をはじめ、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

●水道使用料金などの改定

本市の水道事業は、これまで水道水の安定給水を目指し、施設や管路などの整備事業を実施するとともに、業務委託による効率化を図るなど、健全な事業運営に努めてきたところでございます。

しかしながら、人口減少や節水機器の普及などにより水需要が減少に転じていることもあり、令和5年度から2年連続で純損失を計上しております。

